

令和6年11月27日

報道機関各位

熊本大学

文書館・一般公開セミナー
熊本で考えるハンセン病資料

文書館では、大学史資料に加えて、熊本地域で起きた社会的な問題である水俣病・免田事件・ハンセン病に関する資料の収集を行っています。また本学では、教養科目「ハンセン病講座」の開講や、各教員がそれぞれの専門分野においてハンセン病を授業で取り上げるといった研究教育活動が行われてきましたが、ハンセン病に関する文書記録の収集と保存については取り組みを始めたばかりです。

本一般公開セミナーでは、ハンセン病と関係資料のアーカイブズに詳しい研究者二名を招き、日本各地のハンセン病資料の現状について報告を受けたうえで、熊大の教員を交えて、文書館や熊本地域においてハンセン病資料の収集・保存・公開をどのように進めるべきか、またどのような取り組みが可能かについて広く議論します。学生や一般のみなさまと共に考える機会となれば幸いです。

つきましては、広く一般の方へお知らせいただくとともに、取材方、よろしく願いいたします。

記

- 【日時】 令和6年12月21日（土）13:30～16:30 ※13:00 開場・受付開始
【場所】 熊本大学 文法棟1階 A2教室（黒髪北地区キャンパス）
（熊本市中央区黒髪2丁目40番1号）
【報告】 「ハンセン病と近代日本—《結節点》としての熊本」
廣川和花（専修大学文学部教授 日本近代医学史）
「ハンセン病関係資料の収集・保存・活用—その課題と可能性」
松岡 弘之（岡山大学文学部准教授 日本近代史）
【対象】 一般の方（興味がある方はどなたでも）
【参加費】 無料、予約不要
【主催】 熊本大学文書館
【協力】 熊本大学キャンパスミュージアム推進機構

※詳しくは別紙チラシまたは文書館ホームページをご覧ください。

http://archives.kumamoto-u.ac.jp/info/info_20241221.html

【お問い合わせ先】

熊本大学文書館 担当：香室・古田

TEL：096-342-3951

FAX：096-342-3952

e-mail：archives@jimv.kumamoto-u.ac.jp

熊本で考える

ハンセン病資料

熊本大学文書館では、

大学史資料に加えて、熊本地域で起きた社会的な問題である

水俣病・免田事件・ハンセン病に関する資料の収集を行っています。

熊本大学では、教養科目「ハンセン病講座」の開講や、各教員が

それぞれの専門分野においてハンセン病を授業で取り上げるといった

研究教育活動が行われてきました。ですが、ハンセン病に関する

文書記録の収集と保存については取り組みを始めたばかりです。

本公開セミナーではハンセン病と関係資料のアーカイブズに詳しい

研究者一名を招き、日本各地のハンセン病資料の現状について報告を

受けます。その後、熊大の教員を交えて、熊大文書館や熊本地域

におけるハンセン病資料の収集保存公開をどのように進めるべきか、

またどのような取り組みが可能かについて広く議論します。

プログラム

13:30 **開会挨拶** 文書館長・宮崎 誓 (大学院先端科学研究部 教授)

13:35 報告1

ハンセン病と近代日本—《結节点》としての熊本

廣川 和花 (専修大学文学部教授 日本近代医学史)

14:15 報告2

ハンセン病関係資料の収集・保存・活用—その課題と可能性

松岡 弘之 (岡山大学文学部准教授 日本近代史)

14:55 コメントとディスカッション

コメンテーター・熊本大学

岡田 行雄 (法学部教授, 文書館併任教員)

香室 結美 (文書館特任助教)

15:20 休憩

15:30 質疑応答

16:30 閉会挨拶

2024.12/21(土)
13:30~16:30



■会場詳細■

熊本大学 文法棟1階 A2教室

(黒髪北地区キャンパス)

熊本市中央区黒髪2丁目40番1号

大学構内の駐車場は有料です。

(1時間超え4時間以内500円/4時間超え24時間以内1000円)

また、学内の駐車場所が不足しておりますので、公共交通機関をご利用ください。

■問い合わせ先■

熊本大学文書館

TEL.096-342-3951 Email: archives@jimu.kumamoto-u.ac.jp

本イベントに関するお問い合わせは、12/20(金)15:00までをお願いします。

参加無料
予約不要